

## 訳語の懸隔

外国映画の題名命名セオリーを探る  
白井啓介（文教大学）

### 0. 映画のタイトル

◇映画が発明された当初、タイトル（題名）は単なる識別符号

1985 年 12 月にパリ・グランカフェで公開されたリュミエールの cinematograph では、  
La Sortie de l'usine Lumière à Lyon（Exit from the factory／リオンのルミエール工場の出口）  
L'ArroseurArrosé（The Sprinkler／水をかけられた散水夫／庭師）  
Arrivée d'un train à La Ciotat（Arrival of a train in La Ciotat／ラ・シオタ駅に到着する列車）

◇同時期エジソン社の kinetoscope(後 Vitascope)も同様に、その被写体を表示するのみ

The Burning Stable(1896, 50ft & 150ft)  
Caicedo with Pole(1894, 50ft)  
Blacksmithing Scene (1893, 50ft)

→ 内容説明の符号

### 1. 洋画の訳題

#### (1) 外来語の翻訳

音訳（巴黎／華盛頓）／意訳（劍橋／旧金山）／音訳＋意符（啤酒／卡车／華納兄弟）

#### (2) 近年の実例

- (a) Frozen (2013&2019) → アナと雪の女王／冰雪奇緣／韓国 겨울왕국(冬の王国)
- (b) Nomadland(2021, クロエ・ジャオ 趙婷監督作品) → ノマドランド／无依之地（未公開）
- (c) Intouchables(Untouchables / 2011) → 最強のふたり／触不可及
- (d) The Shawshank Redemption (1994) → ショーシャンクの空に／肖申克的救赎（大陸）／刺激 1995（TW）／月黑高飞（HK）／
- (e) Balzac Et La Petite Tailleuse Chinoise(Balzac And The Little Chinese Tailor 2002 戴思杰監督、仏)  
→ 小さな中国のお針子／巴尔扎克与小裁缝
- (f) The Unbearable Lightness of Being(1988, Philip Kaufman 監督、米) → 存在の耐えられない  
軽さ／布拉格之恋（改编自米兰・昆德拉编著的小说《生命中不能承受之轻》）
- (g) MINAMATA(2020 米 MGM) → MINAMATA—ミナマタ／水俣病

### 2. 翻訳の権力

#### (1) 翻訳選択を決定する権限

i. 翻訳者 ii. 出版社（編集者） iii. 市場（社会イデオロギー）

#### (2) イタマル・イーヴン＝ゾハール(Itamar Even-Zohar／1939-)のポリシステム(polysystem 多元システム)

翻訳文学が主要な位置を占める代表的ケースを挙げる

- (a) 「若い」文学が確立されようとしていて、はじめは「古い」文学にできあいのモデルを求めるとき。
- (b) 文学が「周辺の」であるか「弱く」、欠けている文学タイプを輸入するとき。
- (c) 文学史の重要な転換期にあつて既存のモデルがもはや十分とはみなされない場合、あるいは一国の文学が真空状態にあるとき。『翻訳学入門』 pp.168-169

▽ 多元システムに占める翻訳文学の地位が翻訳の方略を左右すると述べる。翻訳文学が優位

にあれば翻訳者は目標言語の文学モデルに従うという制約を感じないため、慣例を破壊しやすくなる。こうして翻訳者はしばしば起点テキストの諸関係を再現し、適切性 (adequacy) という点で起点言語に極めて近い目標言語を生み出す。そしてその翻訳自体が今度は新しい起点言語モデルを生み出すかもしれない。他方で、翻訳文学が従属的な位置にあれば、翻訳者は既存の目標文化モデルを使うようになり、より「適切性 (non-adequacy) に欠ける」翻訳を生み出してしまふ。(『翻訳学入門』 pp.169-170)

### (3) ルフェーブ (Lefevere, André / レフェブリーとも 1945-1996) の所説

翻訳を左右する要因として3点を挙げる。

(a) 文学システム内の専門家：この中には、批評者や書評者（その異見は作品の受容に影響する）、教師（往々にしてその本が学習されるか否かを決定する）、翻訳者自身（フィッツジェラルドがペルシャの詩人オマル・ハイヤームを翻訳した際、原文を「改良」した事例等）が含まれ、こうした人々が詩論を決定し、時には翻訳テキストのイデオロギーを決めることになる。

(b) 文学システム内外の支援：「文学を読んだり。書いたり、書き換えたりすることを促進する、あるいは妨げる、様々な権力（人もしくは制度）を指す。」支援者となり得るものとしては、以下が挙げられる

i) 歴史上のある時代において、影響力と権力を有する個人（シェークスピア時代のエリザベス I 世、1930 年代のヒトラー）

ii) 人間集団（出版社、メディア、政治家階級や政党）

iii) 文学作品や文学思想の普及を左右する諸制度（国立アカデミー、学術誌、特に教育機関）

(c) 支配的な詩論 (the dominant poetics) (『翻訳学入門』 pp.198-199)

## 3. 題名を決めるのは

### (1) 第一義的には配給業者

日本の場合、映画配給会社の宣伝部が決める

どのように決めるかによって、各配給会社の収益が大きく変わる

例：中国映画『大紅灯籠高高掛』（1991、張芸謀監督） → 『紅夢』

日本で公開する際、輸入配給元東宝東和の常務（当時）小池晃氏が、「この絵をぜひ売りたい」と力を込めて命名

### (2) 影響を及ぼす要因

市場性、題名の馴染みやすさ（日本語としての親和性と異化性）

(a) ポリシステムにおいて映画が優位にある → 起点言語（原題）に近い訳題

(b) 同システムにおいて映画が従属的位置にある → 既存の目標モデルを使う

→ 既存の芝居や通俗小説の題名等が「既存モデル」として作用する

## 4. 20 世紀初頭中国での外国映画

1910-20 年代中国放映の映画作品は、ほとんどすべて洋画だった

中国の新聞に告知される映画名は、しかしすべて中国語訳

▽ ダンテの地獄篇（東京活動影戲園 1913 年 6 月 5 日）L'inferno

意國大名士鄧德君夢遊地府鄧君一日睡夢中偶遇仙人引入地府由第一重起環遊至第九重地獄止見各冤魂生前為惡死後受刑如地卒大鬼牛頭馬面惡狠狠將各冤魂拋入火山雪山血汚池無奈河望鄉台鬼門關等處之慘狀一見令人心寒以及滿台鬼景

▽ Quo Vadis （同 12 月 1 日）

特別新片來申此片係羅馬教皇故事始由該皇設燕賜羣臣起殘暴之心害盡耶蘇教人命軍官放火燒

燬羅馬全城耶蘇教之產業燃燒數千里復將耶蘇教中男婦老幼逐入野獸場中使獅虎豺狼食盡教中之人並將人作燈點等殘忍之事畢演至耶蘇顯聖及羅馬皇自盡為止其中情節非筆能盡述

→ 題名というより 内容要約

羅馬古京旁貝城之末日 ((Jone o Gli ultimi giorni di Pompei/Jone or The last days of Pompeii)  
『ポンペイ最後の日』/Napoleon epopea napoleonica (Napoleon Napoleonic epic/何等英雄『ナポレオン一代記』

#### ・10年代半ばの探偵もの

Zigomar 雪各買 「大盗雪各買偵探案」

Fantômas 販擋末司偵探奇案/方東買司偵探奇案/方登馬司大奇案

#### ・フランスコメディ

Max Linder 林達/麦克斯 麥克氏之約請(*Le rendez-vous de Max*/Pathé Frères, 1913)、麥克斯林達與岳母(*Max et sa belle-mère*/Pathé Frères, 1911)

#### ・シリアル (連続活劇)

The Trey O' Hearts = 三心牌(1915/07 公開) → 日本未公開

The Perils of Pauline = 寶蓮遇險記 → 『遺産』/『ポーリン』 Pearl White 寶蓮

The Mysteries of Myra = 妖党(1917/05 公開) → 『ミラの秘密』(1917/09/29 公開)

#### ・アメリカコメディ

Chaplin 卓別林 (麟)

Payday = 怕老婆(1922/05/27 公開) 『給料日』(1922/12/30 公開)

The Kid = 尋子遇仙(1922/03/02 公開) 『キッド』(1921/07/30 公開)

Harold Lloyd 羅(魯)克 Never Weaken = 誤會了(1921/12/21 公開) 『落胆無用』(1924/07/13 公開)

#### ・1920年代 Feature Film

The Prisoner of Zenda(1922MGM、Dir: Rex Ingram、) = 盧宮秘史(1923/02/08 公開) → 『ゼンダ城の虜』(1923/03/15 公開)

### 5. 言語及び文学システムの相違に由来する差異

◇アメリカシリアル (連続活劇)

The Broken Coin = 半文錢(1916/07 公開) → 『名金』(1915/10 公開)

The Exploits of Elaine = 中国未公開 → 『拳骨』(1916/03 公開)

Lucille Love, Girl of Mystery = 秘密女子(1915/05 公開) → 『國寶』(1916/07 公開)

The Perils of Pauline = 寶蓮遇險記(1916/05 公開) → 『第二遺産』/『ポーリン』(1916/10 公開)

◇戦後でも中国での訳題と日本のそれはさらに懸隔が広がる

Gone with the Wind(1939MGM) = 乱世佳人 → 『風と共に去りぬ』(1952/09/04 公開)

Casablanca(1942WB) = 北非諜影(カサ布蘭カ) → 『カサブランカ』(1946/06/13 公開)

Love Is a Many-Splendored Thing(1955 20th C. Fox) = 生死恋 / 爱情多么美好 → 『慕情』(1955/11/18 公開)

Waterloo Bridge(1940MGM) = 魂断藍橋/滑鉄盧大橋 → 『哀愁』(1949/03/22 公開)

上海公開 1940.11 映画『青青河边草』(1947/中電二廠/王丹鳳主演)/越劇『魂断藍橋』(1944)  
/申曲(滬劇) 1948.08.08 巴黎電影院 再映

#### 日本映画

君の名は(1954) → 请问芳名

君の名は(2016) → 你的名字 英題も Your Name

## 6. 命名のセオリー——初期中国映画の場合

### ◇ 最初期には、音訳、音訳＋意符

直訳系：哥拔析史(Quo Vadis?)

音訳＋意符系：羅馬古京旁貝城之末日(Jone o Gli ultimi giorni di Pompei/Jone or The last days of Pompeii)/大盜雪各買偵探案/方登馬司大奇案

### ◇ シリアル（連続活劇）では直訳、音訳＋意符

直訳系：三心牌 The Trey o' Hearts/秘密女子 Lucille Love, Girl of Mystery/黒箱(案) The Black Box/鐵手(爪) The Iron Claw

音訳＋意符系：寶蓮遇險記 The Perils of Pauline/柯絲倫遇險記 The Adventures of Kathlyn/賀(愛)倫女冒險捕盜 The Hazards of Helen/羅蘭歷險記 The Adventures of Ruth

→ 付加される意符『○○奇遇記』『○×遇險記』『××偵探案』『○△奇案』にこそ中国的特性＝「文学システム内外の諸関係」が現れる

「文学システム内外の諸関係」筆頭として想定されるのが、通俗小説（言情小説・哀情小説）や芝居の「タイトル」としての刷り込み

＊例『小布头奇遇记』(孫幼軍著、中国少年儿童出版社、1961 初版、1978 再版、2016 改版/1990 国際アンデルセン賞ノミネート/2020「教育部基礎教育課程教材發展中心 中小學生閱讀指導目錄」登載)

### ◇ 初期国産映画題名も一定の型

『閻瑞生』(1921 中国影戲/『蓮英被難記』1920.11 文明新戲笑舞台)

『勞工之愛情(擲果緣)』『滑稽大王游滬記』(1922 明星)『張欣生』(1922 明星)

『孤兒救祖記』(1923 明星)/『古井重波記』(1923 上海)

『松柏緣』(1923 商務)/『劫後緣』(1925 聯合)/『歌場奇緣』(1927 国光)

『玉梨魂』(1924 明星/徐枕亞文哀情小説)

『苦兒弱女』(1924 明星)

『失足恨』(1925 華南)/『醉鄉遺恨』(1925 商務)/『楊花恨』(1925 上海)

『秋扇怨』(1925 友聯)

→「○○記」「○△緣」「○×恨」

## 参考文献

- (1) 拙著『銀幕發光—中国の映画伝来と上海放映興行の展開』(作品社、2019 年刊)。
- (2) ジェレミー・マンディ著『翻訳学入門』(鳥飼玖美子監訳、みすず書房、2009 年刊)。
- (3) 畑輝男編『20 世紀アメリカ映画事典』(カタログハウス、2002 年刊)。
- (4) 付永春主編『跨国與跨文化視覚下華莱坞電影理論與歷史』(首都經濟貿易大学出版社、2019)
- (5) 張子誠・楊揚主編『中国百年藝術影片』(河北人民出版社、2005)